【総輸入代理店】株式会社テイク
〒 104-0061 東京都中央区銀座 1-28-12 鹿倉ビル 1F
TEL: 03-5159-4711　FAX: 03-5159-4712
(平日 9:30 ～ 18:00 土日祝日・弊社休業日除く)

2016.04 作成

elinchrom®

is a registered trademark of ELINCHROM LTD, RENENS, SWITZERLAND

クイックスタートガイド

D-Lite RX ONE

EL-Skyport
Transmitter Plus

D-Lite RX 2/4

BRX 250/500

D-LiTE RX ONE

D-LiTE RX 2/4

BRX 250/500

EL-Skyport Transmitter Plus

目次

ストロボガイド 2
機能・コントロールパネル 2
コントロールパネル 3
設定 4
トラブルシューティング 5
EL-Skyport ガイド 6
コントロールパネル 6
電池の入れ方・周波数チャンネル 7
取り付け・取り外し・位置を定める 8
トラブルシューティング 9
ソフトボックスの組立て方法 .....10、11

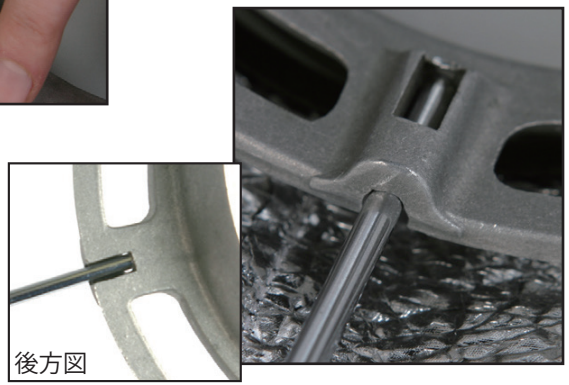
■機能

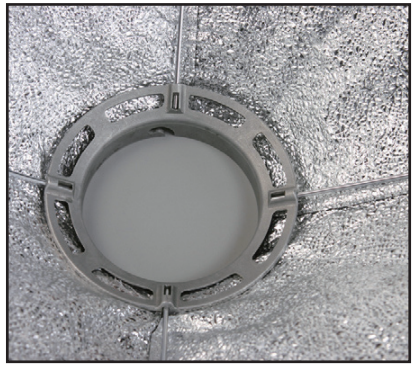
	プログラミング	
出力	▼ ▲	ダウン/アップ
チャージ音		オン/オフ
発光テストボタン		手動発光
スレーブ発光		オン/オフ
プリ発光センサー	4秒長押し	オン
モデリングランプ		比例式/最小/最大/オフ
マスター・リセット	▼ ▲ を二つ同時に押してから本体の電源を入れる	

■コントロールパネル

● D-Lite RX ONE

3. ロッドの別の先端をマウントリングの後側についているロッドソケットに差し込みます。(図　後方図参照)



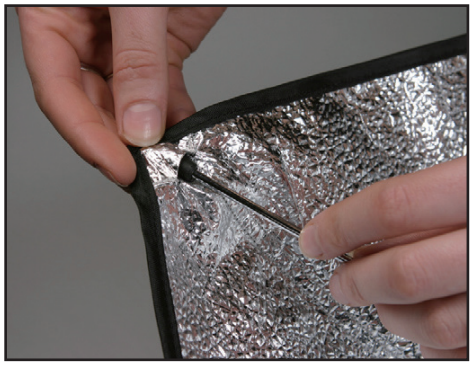


4. 残りの３つのロッドも同様に差し込みます。この様にして出来たソフトボックスをヘッドに取付け、最後にフロントカバーを付けます。

ソフトボックスの組立て方法

<キット内訳>
・リアカバー　1
・フロントカバー　1
・マウントリング　1
・ロッド　4

1. 平らなところにリアカバーを開いて置いて下さい。マウントリングを真中の穴の空いている位置に置きます。その場合、リアカバーの縫い目の位置にロッドの差し込み口が合うように置いて下さい。



2. リアカバーの四隅のポケットにロッドの先端にキャップのある方を差し込みます。(順々に４本とも)

ストロボガイド（つづき）

● D-Lite RX 2/4

● BRX 250/500

■設定

	メニューに入る	サブメニューに切り替え	プログラミング
ビジュアルフラッシュコントロール リチャージの間、モデリングランプをオフにする設定	2秒長押し		▼ ▲ で設定 F.1 オン F.0 オフ
比例式モデリングランプの設定 500WSのヘッドとの釣り合いの為に、モデリングランプを50%に設定する方法			▼ ▲ で設定 -.1 オン -.0 オフ
チャージ完了音の設定 **0.07秒〜0.49秒の間でチャージ完了音を設定**	2秒長押し		▼ ▲ で設定 A.1 ∨ ∧ A.7 0.07〜0.49秒の間
赤目防止のプリ発光感知 カメラ側の赤目防止機能に対応	4秒長押し		▼ ▲ で設定 c.0 発光を自動カウント c.1 プリ発光無し ∨ ∧ c.7 6回プリ発光
EL-Skyportの起動	二つ同時に押す ▼ ▲		▼ ▲ で設定 r.0 オフ r.1 標準同期モード r.2 高速同期モード
EL-Skyportのグループ設定			▼ ▲ で設定 G.1 ∨ ∧ G.4 グループ１〜4
EL-Skyportの周波数チャンネル設定			▼ ▲ で設定 F.1 ∨ ∧ F.8 チャンネル1〜8
出力&モデリングのステップ設定 出力の変更を1/10、5/10、又は、最大1/1のf-ストップのステップまで設定			▼ ▲ で設定 C.0 1ストップ C.1 1/10 ∨ ∧ C.5 5/10
マスター・リセット	本体の電源を切り、▼ ▲ を二つ同時に押してから再び電源を入れる		

変更内容は4秒後に自動的に保存されます。

■トラブルシューティング

状態	以下の点を確認してください
トランスミッターモードの “All” を選択しているのに、フラッシュユニットが、トリガーされません。	・トランスミッターのスイッチが入っているか確認してください。 ・電池の極性を確認してください。 ・受信機モジュールが、ユニットと正しく接続されているか確認してください。 ・周波数セレクタースイッチが、同じチャンネルを選択しているか確認してください。 ・トランスミッターが、同じトリガーモード（Speed/Normal）になっているか確認してください。
トランスミッターが “Group” モード状態でトリガーする際に、発光しないユニットがあります。	・周波数セレクタースイッチが、同じグループに設定されているか確認してください。 ・トランスミッターが、同じトリガースピードモード（Speed/Standard）になっているか確認してください。 ・反応していないユニットとの、距離を近づけてください。
テストフラッシュは機能しますが、カメラシャッターボタンから発光できない。	・ホットシューが、合っているか確認してください。 ・2.5 mm をホットシューへの接続の代わりに、PC SYNC ケーブルに接続してください。
実効距離範囲	・ユニットを再配置してください。 ・壁及び、天井から離してください。
電源が入りません。	電池が正しく装填されているか確認してください。

■取り付け

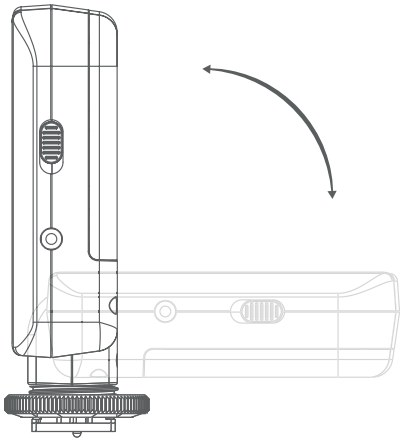
1. カメラと EL-Skyport トランスミッターの電源を切ります。
2. EL-Skyport トランスミッターをスライドし、カメラのホットシューマウントの後ろ側より一番奥まで入れ込む。
3. 固定ネジで、土台を固定する。

■取り外し

1. アンロック：固定ネジを反時計回りに回す。
2. EL-Skyport トランスミッターをスライドさせ、カメラのホットシューマウントから取り外す。

■位置を定める

距離範囲の最適化をします。

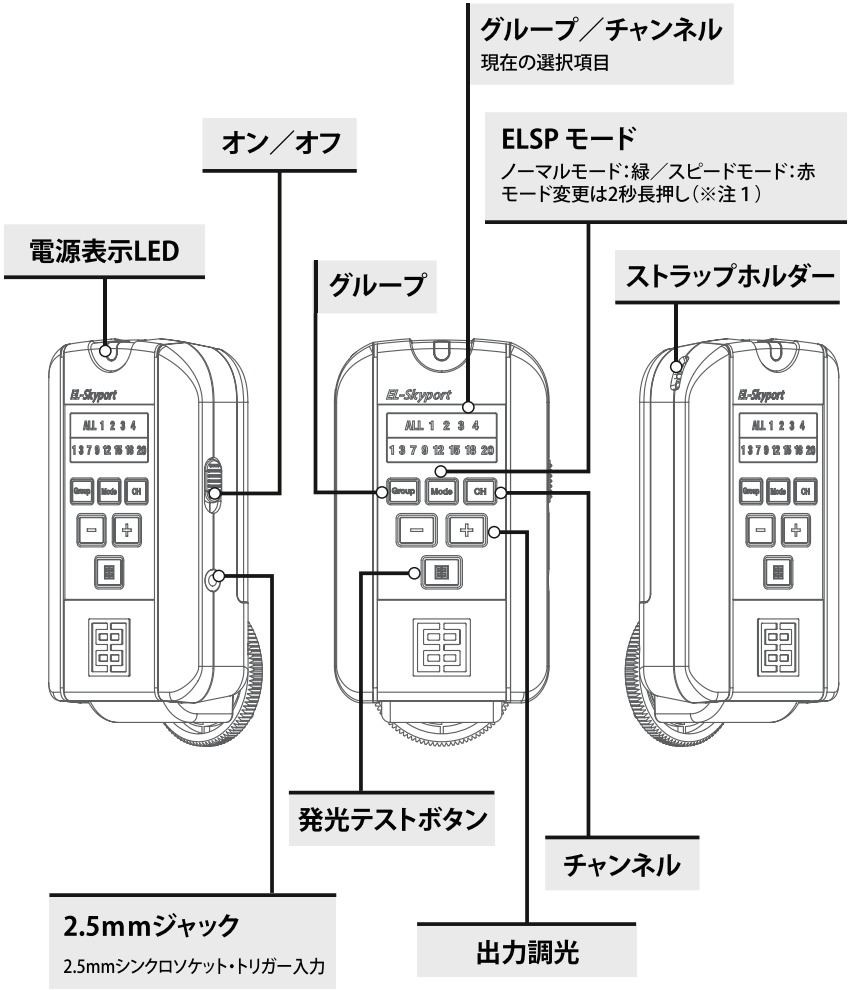


■トラブルシューティング

エラー番号	障害	対策
E1	**過電圧を検出**	本体の電源を切り、2 分ほど待ってから、再び電源を入れて下さい。このエラーが再び現れた場合、このユニットはエリンクローム・サービスセンターで点検を受ける必要があります。
E2	**オーバーヒート**	本体が冷却されるまでお待ち下さい。温度が通常の動作レベルまで下がり次第、通常動作に戻ります。
E3	**ADF(自動ダンプ機能) 不良**	ADF（自動ダンプ機能）モードでタイムアウトが検出されました。まず、本体の電源を切り、2 分ほど待ってから、再び電源を入れて下さい。ストロボ出力低減の為にはテスト・ボタンにて空ダキ放電してください。このエラーが再び現れた場合、このユニットはエリンクローム・サービスセンターで点検を受ける必要があります。
E4	**チャージ不良**	リチャージの途中でタイムアウトが検出されました。まず、本体の電源を切り、2 分ほど待ってから、再び電源を入れて下さい。このエラーが再び現れた場合、このユニットはエリンクローム・サービスセンターで点検を受ける必要があります。
E5	**電源供給の不良**	電源供給の不良が検出されました。電源コード及び電源の据え付けソケットをチェックして下さい。本体の電源を切り、2 分ほど待ってから、再び電源を入れて下さい。このエラーが再び現れた場合、このユニットはエリンクローム・サービスセンターで点検を受ける必要があります。
E8	**ファンの制御不良**	オーバーヒートの為に、ファンの制御問題が検出されました。本体が冷却されるまでお待ち下さい。ファンが塞がって（詰まって）いないかチェックして下さい。このエラーが再び現れた場合、このユニットはエリンクローム・サービスセンターで点検を受ける必要があります。

EL-Skyport ガイド

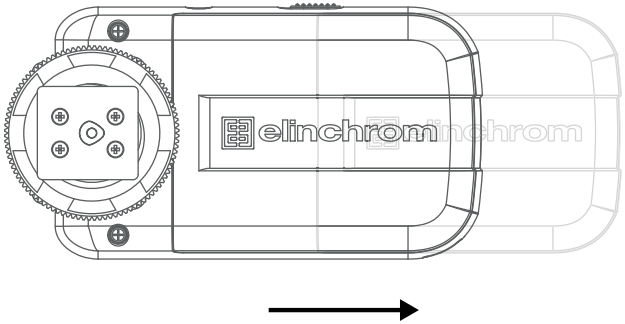
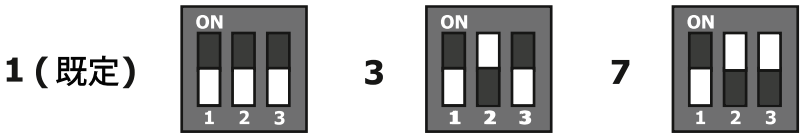
■コントロールパネル



（※注１）２秒長押し毎に、ノーマルモード／スピードモード切換え（シャッター同期速度）
ノーマル：1/160 秒まで
スピード：1/250 秒まで
※ストロボ本体側も切り換える必要があります。
r1：ノーマルモード
r2：スピードモード

■電池の入れ方

電池コンパートメントを押し、矢印の方向へスライドして電池カバーを取り外します。
バッテリーを入れます。電池の「+」と「-」の向きを正確に合わせてください。
（注意：単三アルカリ電池２本（別売り）を使用してください。）
電池カバーを戻し、カチッとロックが掛かるまで差し込んでください。



■ EL-SKYPORT の周波数チャンネル